

【 診療科:乳腺外科 】

【 レジメン登録番号:SB-20 】

< Pertuzumab + Trastuzumab + DTX 療法 >

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)	
			1	21
パージェタ	初回 840mg 以降 420mg	div	○	
トラスツズマブBS	初回 8mg/kg 以降 6mg/kg	div	○	
ドセタキセル	75mg/m ²	div	○	

【1コース期間: 21日】

【総コース数: 進行再発→制限なし

術前術後療法→3~4コース。

その後パージェタ・ハーセプチンのみ合計12ヶ月間(最大18コース)投与する。】

【適応癌種: 乳癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	パージェタ 初回 840mg 以降 420mg	div(初回60分で) (以降30分で)
	生理食塩水 250mL	
Rp.2	生理食塩水 100mL	div(初回60分で) (以降30分で)
Rp.3	トラスツズマブBS 初回 8mg/kg 以降 6mg/kg	div(初回90分で) (以降30分で)
	生理食塩水 250mL	
Rp.4	デキサート 6.6mg	div(初回60分で) (以降30分で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.5	ドセタキセル 75mg/m ²	div(60分で)
	生理食塩水 250mL	
Rp.6	生理食塩水 50mL	div(全開で)

【参考文献: パージェタ・トラスツズマブBS・ドセタキセル添付文書、

Annals of Oncology 29:646-653;2018、N Engl J Med 2017;377:122-31

【備考①: 前回投与日から6週以上経過した場合、再ローディング可。

【備考②: パージェタ・トラスツズマブBSの減量不可。

【備考③: 術前術後療法の場合の投与方法は、総コース数参照。

進行再発の場合ドセタキセル中止後、パージェタ・トラスツズマブBSのみでも継続可。

【変法情報: